

令和7年度 伊平屋村教職員激励会



村長 名嘉律夫

教育長 石川清一



野甫中職員

伊平屋中職員



伊平屋小職員



新職員資料館視察

令和七年四月二日(水)伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、一九名の新職員を迎えて、伊平屋村教職員激励会が挙行された。名嘉律夫村長から、「ようこそ」てるしのの島、伊平屋村へお越しく下さいました。心より歓迎いたします。私から、新たに伊平屋村に赴任した皆様にご挨拶があります。一つ目は、「子ども達に寄り添い、子供目線で考える教師」であってほしいということです。二つ目は、「地域とともにある学校づくり」の推進です。今年度から全村立学校にてコミュニティ・スクールがスタートします。学校長のリーダーシップのもと、家庭・地域と強く連携した教育実践を願っています。」と激励の挨拶があった。

第1号

教育委員会
たより

文責
伊平屋村教育委員会
屋比久健太郎



令和七年度 新職員が赴任 ようこそ(てるしの)の島 伊平屋村へ

伊平屋村教育委員会 施策説明及び教育長講話

教職員激励会の後、本村の全教職員を対象に、指導主事による「伊平屋村教育施策説明」と石川清一教育長による「教育長講話」が行われた。令和五年一月に策定された「第一期伊平屋村大綱および第一次伊平屋村教育振興基本計画」に基づき、伊平屋村の教育理念である「つながり ひろがり」とともに学ぶ伊平屋の島発ち教育」が示された。この説明は、新任教職員だけでなく、二、三年目の教職員にとっても、村の教育目標や主要施策を把握し、伊平屋村に赴任した教師としての心構えを再確認する貴重な機会となった。

【施策説明・教育長講話 教職員感想】

・「島発」という、大きく貫く主題に沿って、改めて日々の指導や業務を見直すとともに、先の予想困難な時代だからこそ、基礎となる力を育むことが肝要だと思いました。

・伊平屋島の子供たちの今後の島発ちへ向けての取り組みがとても具体的に学力向上のために教育委員会はじめ先生方の想いが熱くとても素敵だなと感じました。私自身も島発ちをしてから十五年経ちました。こんなにもたくさんの方々のご支援のもとで過ごせたのはほんとに恵まれていたんだなと思いました。これからは私が子供たちのために出来ることを精一杯し保幼小の連携を密にして心豊かで健康な子供の育成に努めたいと思います。ありがとうございます。

・初めての場所に来て、不安なことやどうやって今後過ごしていけばいいか色々考えていたので、教育長の趣味の話は参考になりました。インドの話は私が全く知らない世界の話のようで、とても興味深かったです。お互いを尊重し、何が幸せか考え続けていくことが大切だと思いました。

・世界には色々な文化や習慣があり私たちにとって当たり前なことでも他国では当たり前ではないこと。自分の物差しで判断し安易に可哀想だと思うのは違うのだと考えさせられました。幸せのハードルは人それぞれであって私たちは本当に恵まれているんだらうなと改めて感じました。素晴らしい講話が聞けて嬉しく思います。また機会があれば是非参加させてください。ありがとうございます。



教育長講話・施策説明の様子